



国立大学法人

大阪教育大学

環境報告書

2012



もくじ

○ 学長挨拶	1
○ 大阪教育大学環境報告書2012の作成にあたって	2
○ 大学概要	3
○ 事業概要	5
○ 環境方針	6
○ 環境マネジメント組織	7
○ 環境配慮実施計画	8
○ マテリアルバランス	12
○ 環境負荷データ	13
○ 環境マネジメント活動の推進	
・ 環境保全活動の状況	18
・ 省エネルギー活動	19
・ エネルギー削減の取り組み状況	22
・ 安全・安心への取り組み	23
・ 地域社会への取り組み	24
・ 学内での取り組み	26
○ 配置図(柏原キャンパス)	30

表紙の解説

表紙のサルスベリは、事務局前の築山に植栽されています。平成6年に旧池田キャンパスから譲り受けたもので、毎年夏になれば白色の花が咲きほころび、暑い夏の清涼感の一つとなっています。移植後18年が経過し現在では約10メートルの大木となりました。

サルスベリ（百日紅）は中国南部原産の落葉小高木で、日本には江戸時代に渡来した南方系の植物です。
学名：Lagerstroemia indica（ミソハギ科 サルスベリ属） 花の色：紅紫色・淡紅紫色・白色



移植の状況 (H6)



移植の状況 (H6)



現在の状況

学長挨拶

環境報告書の公表にあたって（平成24年9月）



国立大学法人 大阪教育大学長

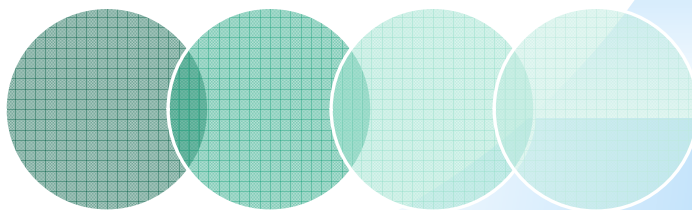
花尾 新一夫

大阪教育大学は大阪府の中心部から少し奈良よりの柏原市にキャンパスがあります。周りの山ではぶどうが栽培され、キャンパスも小高い山の上にあります。

昨年の東日本大震災後、本学は省エネルギーキャンペーンとして「クーラーよりもクールビズ」、「ヒーターよりもセーターを」と言うキャッチフレーズで節電に取り組んでいます。最初の夏は太陽光発電設備（構内電力使用量4%相当）による省エネ効果を見込みつつ節電活動を始めたのですが、どれくらいのエネルギー削減が可能か、予測が困難でした。この夏は昨年度の実績データがあることで、建物当りや時間ごとの電力使用量予測ができ、電力使用の検証と改善に役立つ「見える化」を実現しました。原発稼働により関西電力管内の節電は15%から10%に下げられましたが、本学は引続きマイナス15%を目標にして、大学構成員一同節電に努力しています。なお、節電により発生した余剰金は施設の不具合箇所の修理などに充当し更なる改善を図っています。

また、本学は「クリーン アンド グリーン」活動に力を注いでいます。諸先輩方の長年の努力により緑豊かな柏原キャンパスになりつつありますが、学生や教職員が「水仙」、「コスモス」、「朝顔」、「風船カズラ」などを育てているほか、キャンパスクリーン週間を設定して草刈りをするなど、積極的にクリーン アンド グリーン活動を行っています。

本学を卒業する人の多くが教職につくこともあり、環境への対応や節電の工夫で得られた経験を次の世代の子供達に伝えてもらうことを期待して、日々取り組んでいます。



大阪教育大学環境報告書2012の作成にあたって

方針

「環境情報の提供の促進等による特定事業者等の環境に配慮した事業活動の促進に関する法律（環境配慮促進法）」の施行により、平成18年度より大阪教育大学では、環境報告書を作成、公表してまいりました。大阪教育大学は平成16年4月に法人化し、大学の独自性が問われる中、省エネの取り組み、古紙のリサイクル等環境負荷削減に取り組んでまいりましたが、なお一層の取り組みが必要であると考えております。大阪教育大学環境報告書2012は、本学の教職員、学生、本学への入学を希望されている方々、保護者及び近隣住民に対して、平成23年度の大阪教育大学の環境についての現状を報告するものとして作成いたしました。

報告書の対象範囲

大阪教育大学柏原キャンパス

報告書の対象期間

平成23年度（2011年4月～2012年3月）

※但し、一部の内容については、2012年8月までの情報を含む。

参照ガイドライン等

- ・「環境情報の提供の促進等による特定事業者等の環境に配慮した事業活動の促進に関する法律」に基づく
「環境報告書の記載事項」
- ・環境省「環境報告書の記載事項等の手引き」
- ・環境省「環境報告ガイドライン（2007年版）」

発行年月

平成24年9月

次回発行予定

平成25年9月

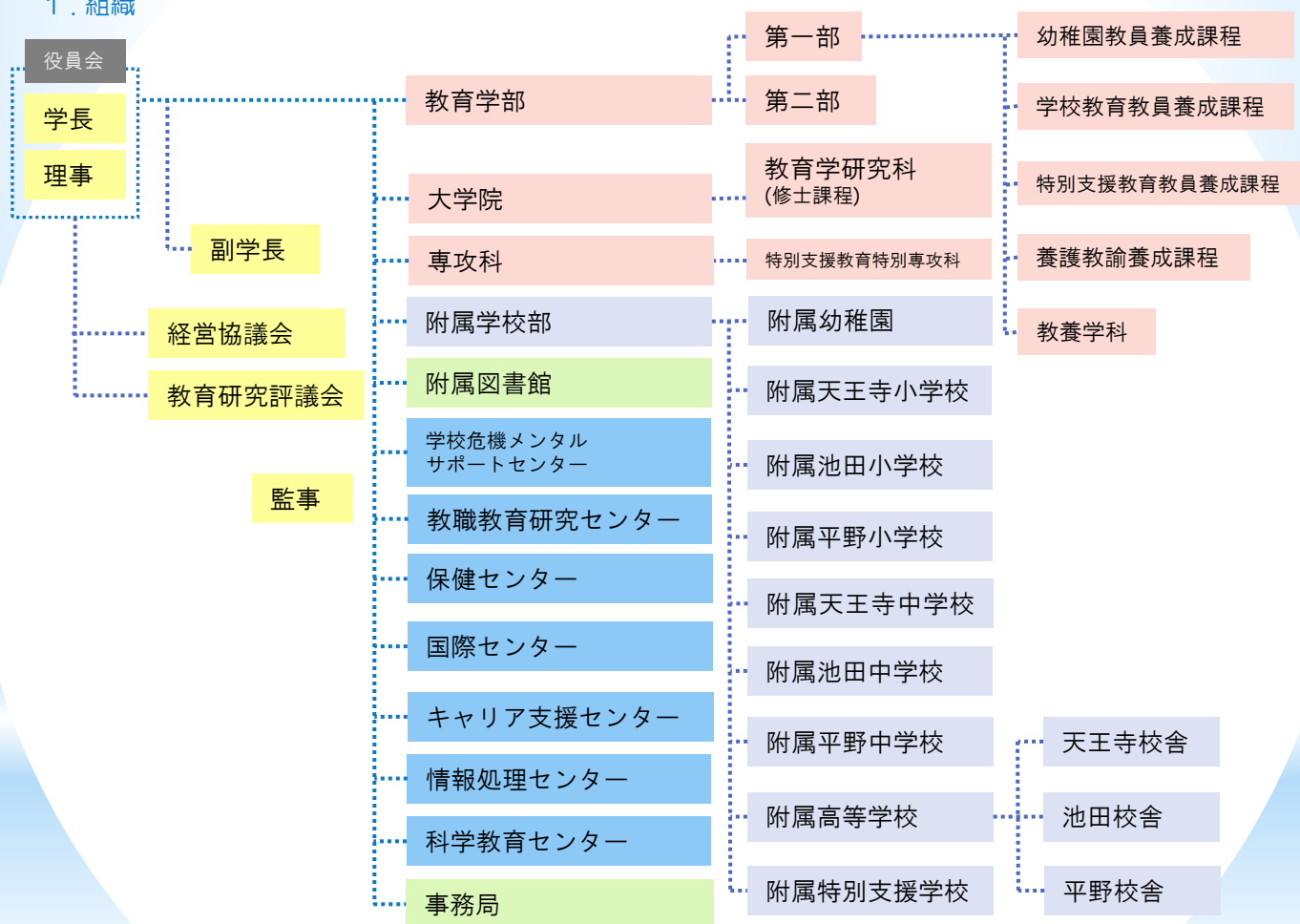


大学概要

大阪教育大学は、1874年（明治7年）8月に設置された教員伝習所にその起源を有する我が国有数の教員養成系大学です。

現在の大阪教育大学は、大阪府柏原市の金剛生駒紀泉国定公園内に約67万㎡のメインキャンパスを配置し、教員養成教育と教養教育を通じて有為な人材を輩出する一方、国際都市として交通アクセスはもとより情報・産業の中核機能を有する大阪市内に天王寺キャンパスを擁し、大阪市天王寺区、平野区及び大阪府池田市の3地区に初等・中等教育並びに特別支援教育に対応した附属学校園とともに総合的な教育系大学をめざしています。

1. 組織



2. 職員数（平成23年5月1日現在）

学長	理事	監事	合計
1	4	2(1)	7(1)

教授	145
准教授	101
講師	15
助教	1
附属学校教員	259
事務系職員	154

3. 学生数

■教育学部（平成23年5月1日現在）

第一部 教員養成課程・教養学科

教員養成課程	2,081(2)
教養学科	1,702(52)
合計	3,783(54)

第二部 小学校教員養成5年課程

1年次入学	216
3年次編入学	163
合計	379

大学院教育学研究科

学校教育専攻他17専攻	420(24)
-------------	---------

特別支援教育特別専攻科

特別支援教育特別専攻科	27
-------------	----

外国人留学生は（ ）
で外数で記入

事業概要

本学は、その主目的である教員養成の他、幅広い教養と豊かな人間性を身につける教養学科を置き、加えて、それぞれを基礎に置く大学院を設置しています。

また、聴覚言語障害教育の充実に資するため、主として現職教員を対象とした特別支援教育特別専攻科を置いています。

1. 教育学部

本学教育学部には第一部〔柏原キャンパス〕・第二部〔天王寺キャンパス・夜間〕の教員養成課程と教養学科があります。

(1) 教員養成課程

① 第一部

卒業と同時に所属する課程・専攻に対応する教育職員一種免許状授与資格を得られるように編成されています。

課程は、学校教育教員養成課程、特別支援教育教員養成課程、幼稚園教員養成課程、養護教諭養成課程があります。

② 第二部

天王寺キャンパスにおいて、昼間に学べない勤労学生等のために門戸を開いており、課程は小学校教員養成5年課程で、卒業と同時に小学校教員一種免許状授与資格を得られるように編成しています。

(2) 教養学科

現代社会の要望に応える幅広い教養を身につけることができる人材を育成することを目的として、8専攻を設けています。人間科学専攻、文化研究専攻、数理科学専攻、自然研究専攻、情報科学専攻、スポーツ専攻、健康生活科学専攻、芸術専攻

2. 大学院教育学研究科（修士課程）

本学の大学院教育学研究科(修士課程)の組織は教員養成課程を基礎に置く大学院と教養学科を基礎に置く大学院に大別でき、その各々に現職教員、社会人等を対象とする夜間大学院を設けています。

また、すべての専攻において、基礎となる一種免許状授与の所要資格を有している場合に限り、専門分野に対応する教育職員専修免許状授与の資格を得ることが可能です。

(1) 教員養成課程を基礎に置く14専攻

- | | | |
|---------|---------------|----------|
| ①学校教育専攻 | ②国語教育専攻 | ③社会科教育専攻 |
| ④数学教育専攻 | ⑤理科教育専攻 | ⑥英語教育専攻 |
| ⑦家政教育専攻 | ⑧音楽教育専攻 | ⑨美術教育専攻 |
| ⑩保健体育専攻 | ⑪特別支援教育専攻 | ⑫技術教育専攻 |
| ⑬養護教育専攻 | ⑭実践学校教育専攻(夜間) | |

(2) 教養学科に基礎を置く4専攻

- | | | | |
|---------|-----------|---------|-------------|
| ①国際文化専攻 | ②総合基礎科学専攻 | ③芸術文化専攻 | ④健康科学専攻(夜間) |
|---------|-----------|---------|-------------|

3. 特別支援教育特別専攻科

聴覚言語障害教育の充実に資するため、主として現職教員を対象として特別支援教育に関する専門教育を行い、この分野における教育を担当し得る教員の養成を目的に設置しています。

修了年限は1年で、すでに教員免許を有しているものを対象としています。

環境方針

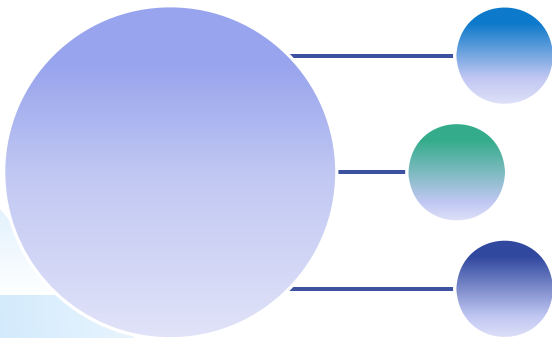
■ 基本方針

大阪教育大学は、地球環境の保全が大きな問題であることを真摯に受け止め、教育研究及びあらゆる活動を通して、地域を含めた良好なキャンパス環境の維持保全に努めます。また、教員養成系大学として高い学識と豊かな教養をもち、環境問題に理解のある人材を育成します。このため、特に次の事項について推進して行きます。

1. 省エネルギー、廃棄物の抑制、資源の再利用、環境汚染防止等全ての環境負荷の低減に継続的に取り組みます。
2. 美しく豊かなキャンパス環境の実現に向けた緑化整備、環境美化等について、全ての大学構成員の参加によるプログラムを推進します。
3. 環境に関する法令を遵守し、さらに自主管理規程を制定し、大学の社会的責任を果たします。
4. この基本方針を達成するため、環境配慮目標を設定し、環境情報を提供するなど、全ての大学構成員により、環境保全に取り組みます。
5. この方針は、BBS（電子掲示板）をもって全構成員に周知するとともにインターネットのホームページを用いて、広く社会に開示します。

平成24年9月

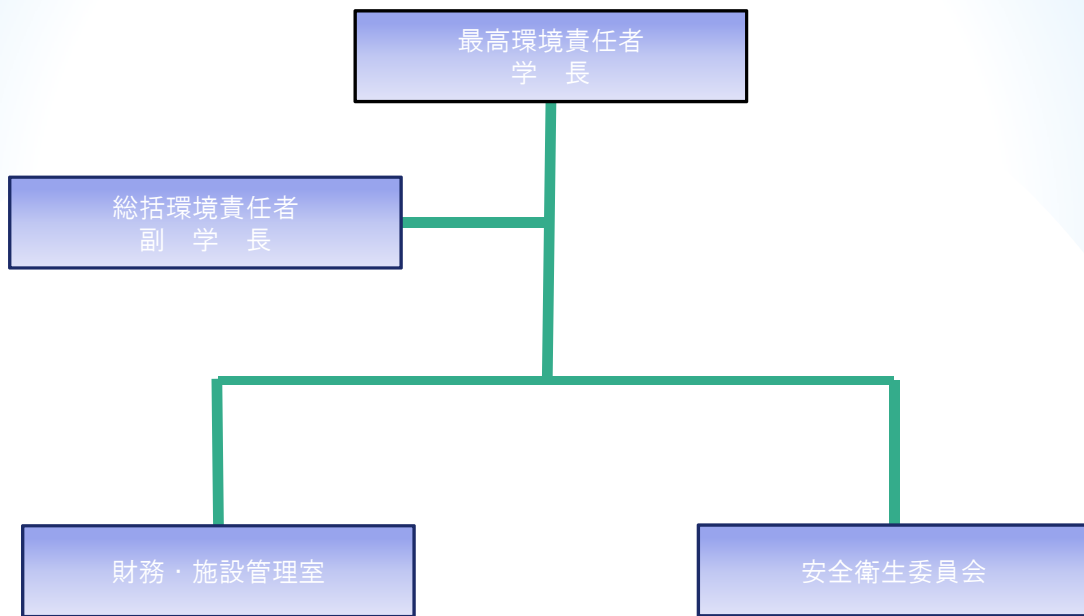
国立大学法人大阪教育大学
学 長 長 尾 彰 夫



環境マネジメント組織

(平成23年5月1日現在)

本学には施設・環境に係わる計画、整備及び維持保全について、担当理事（副学長）を室長に教員、事務職員で構成する財務・施設管理室が審議検討を行っています。また、教職員の危険並びに健康障害の防止等安全衛生については、担当理事（総務企画担当）を委員長に審議検討を行っています。



委員会等構成

財務・施設管理室	
担当理事（室長）	
管理部長	
学長指名職員	理事 1 名
	教授 1 名
	財務課長
	契約室長
	施設課長
	人事課長

安全衛生委員会（規程・第23条）
担当理事（委員長）
産業医
衛生管理者（学長指名）
危害防止担当者（学長指名）
安全衛生経験者（学長指名）
健康障害防止・以外対応策（学長指名）
学長指名委員 2 名

環境配慮実施計画

大阪教育大学の環境配慮の目標は、「省エネルギー・省資源の推進」「廃棄物の抑制」「環境汚染防止」「環境教育等の充実」「地域貢献」「喫煙対策」「学内美化」の項目を実施計画とし、進めて行きます。

平成23年度の実施計画、評価 (自己評価の○は計画達成、△は一部達成、×は未達成を示します。)

■ 省エネルギー・省資源の推進

項目	実施計画	自己評価
エネルギー使用量・温室効果ガスの削減	<input type="checkbox"/> エネルギー使用量及び温室効果ガス排出量を前年度比1%削減する。 <input type="checkbox"/> 掲示物等で省エネの啓発を行う。 <input type="checkbox"/> 廊下・トイレ等の照明の自動点灯・消灯装置への更新、教室等の照明器具のHf型照明器具への更新する。	○
水使用量の節減	<input type="checkbox"/> 掲示物等で節水の啓発を行う。 <input type="checkbox"/> トイレの手洗い自動水栓の導入を行う。 <input type="checkbox"/> メーターを検針し、水使用量を把握して大きな漏水がないかチェックする。	○

■ 廃棄物の抑制

項目	実施計画	自己評価
一般廃棄物の排出抑制	<input type="checkbox"/> 分別回収の徹底強化する。 <input type="checkbox"/> 大学生協のランチボックス等紙パックの回収する。 <input type="checkbox"/> 掲示によるマナー啓発活動の展開する。	○
用紙使用量の削減	<input type="checkbox"/> 用紙の両面利用を推進し、使用量の節減を図る。 <input type="checkbox"/> 学内連絡や会議用資料の保存等を紙から電子記録媒体に移行する。	○

■ 環境汚染防止

項目	実施計画	自己評価
実験廃棄物等の管理	<input type="checkbox"/> 学長統括の下、大阪教育大学実験廃棄物等管理委員会において適正管理する。	○
実験廃棄物の廃棄	<input type="checkbox"/> 大阪教育大学実験廃棄物等取扱規程に基づき、実験廃棄物を排出する実験廃棄物等取扱者が、実験廃棄物等取扱責任者の指導監督の下、廃棄処分する。	○
実験用劇物等の管理	<input type="checkbox"/> 購入者がその都度、薬品名・薬品番号・購入単位・購入年月日・受入量・使用者を受払簿に記載する。 <input type="checkbox"/> 大量の物は屋外の鍵付き保管倉庫に、少量の物は屋内実験室等の鍵付き保管庫に保管する。 <input type="checkbox"/> 受払簿は保管庫倉庫内と保管庫内に保管する。 <input type="checkbox"/> 受払簿は使用する毎に記載する。	○

環境配慮実施計画

■ 環境教育等の充実

項 目	実 施 計 画	自己評価
環境教育の充実	<input type="checkbox"/> 教材園での栽培を通して、自然環境の大切さを学ばせる。	○
環境保全意識の啓発	<input type="checkbox"/> 春と秋、年2回のキャンパスクリーン週間を設け、自分達を取り巻く環境は自分達の手で護らねばならないという意識の芽生えを図る。	○

■ 地域貢献

項 目	実 施 計 画	自己評価
森林体験学習	<input type="checkbox"/> 柏原市との連携協定に基づく、近隣の小学生を対象とした森林体験学習を本学学生ボランティアにより実施する。	○
グリーンアドベンチャ (社団法人青少年流協会)	<input type="checkbox"/> キャンパス内に設定されたコース上の植物の名前や生態を付設ボードのクイズを解きながら学習し、キャンパスを野外活動で近隣地域の住民にも開放する。キャンパスの豊かな自然の中で自然に親しみ、植物をとおして生命の尊さとそれを育む環境保全の大切さを体感させる。	○
その他	<input type="checkbox"/> 星空を観察するという身近な方法で大気の汚れを実感し、大気汚染問題に対して関心をもって頂くことを目的とした「星空の観察会」の実施する。	○

■ 喫煙対策

項 目	実 施 計 画	自己評価
喫煙・分煙区域の指定	<input type="checkbox"/> 分煙対策として、引き続き禁煙区域の明示と喫煙場所の整理を行い、受動喫煙の弊害を抑制する。	○
啓発活動	<input type="checkbox"/> 喫煙者に対する健康意識の高揚や喫煙マナー向上に向けたPR活動を推進する。	○

■ 学内美化

項 目	実 施 計 画	自己評価
雑草の刈り取りとゴミの一斉収集	<input type="checkbox"/> キャンパスクリーン週間を年間2回設け、教職員と学生による一斉雑草刈りとゴミの収集を行い、環境美化を図る。また、この週間中以外でも道具を貸し出し、有志で環境美化が実施できる対応とする。	○
花壇の整備	<input type="checkbox"/> 計画的に整備する。	○
植栽の剪定	<input type="checkbox"/> 定期的に植木剪定業者を雇い剪定する。	○

環境配慮実施計画

平成24年度の目標

■ 省エネルギー・省資源の推進

項 目	実 施 計 画
エネルギー使用量・温室効果ガスの削減	<input type="checkbox"/> エネルギー使用量及び温室効果ガス排出量を前年度比1%削減する。 <input type="checkbox"/> 太陽光発電設備の設置等自然エネルギーの導入を推進する。 <input type="checkbox"/> 掲示物等で省エネの啓発を行う。 <input type="checkbox"/> 廊下・トイレ等の照明の自動点灯・消灯装置への更新、教室等の照明器具のHf型照明器具への更新、省エネに配慮した機器、システムの導入を推進する。
水使用量の節減	<input type="checkbox"/> 掲示物等で節水の啓発を行う。 <input type="checkbox"/> トイレの手洗い自動水栓の導入を行う。

■ 廃棄物の抑制

項 目	実 施 計 画
一般廃棄物の排出抑制	<input type="checkbox"/> 分別回収の徹底強化する。 <input type="checkbox"/> 大学生協のランチボックス等リサイクルする。 <input type="checkbox"/> 掲示によるマナー啓発活動の展開する。
用紙使用量の削減	<input type="checkbox"/> 用紙の両面利用を推進し、使用量の節減を図る。 <input type="checkbox"/> 学内連絡や会議用資料の説明保存等を紙から電子記録媒体にする。

■ 環境汚染防止

項 目	実 施 計 画
実験廃棄物等の管理	<input type="checkbox"/> 学長統括の下、大阪教育大学実験廃棄物等管理委員会において適正管理する。
実験廃棄物の廃棄	<input type="checkbox"/> 大阪教育大学実験廃棄物等取扱規程に基づき、実験廃棄物を排出する実験廃棄物等取扱者が、実験廃棄物等取扱責任者の指導監督の下、廃棄処分する。
実験用劇物等の管理	<input type="checkbox"/> 購入者がその都度、薬品名・薬品番号・購入単位・購入年月日・受入量・使用者を受払簿に記載する。 <input type="checkbox"/> 大量の物は屋外の鍵付き保管倉庫に、少量の物は屋内実験室等の鍵付き保管庫に保管する。 <input type="checkbox"/> 受払簿は保管庫倉庫内と保管庫内に保管する。 <input type="checkbox"/> 受払簿は使用する毎に記載する。

■ 環境教育等の充実

項 目	実 施 計 画
環境教育の充実	<input type="checkbox"/> 教材園での栽培を通して、自然環境の大切さを学ばせる。 <input type="checkbox"/> 学内環境を通して、自然環境の大切さを学ばせる。
環境保全意識の啓発	<input type="checkbox"/> 春と秋、年2回のキャンパスクリーン週間を設け、自分達を取り巻く環境は自分達の手で護らねばならないという意識の芽生えを図る。

環境配慮実施計画

■ 地域貢献

項 目	実 施 計 画
森林体験学習	□柏原市との連携協定に基づく、近隣の小学生を対象とした森林体験学習を本学学生ボランティアにより実施する。
グリーンアドベンチャ (社団法人青少年交流協会)	□キャンパス内に設定されたコース上の植物の名前や生態を付設ボードのクイズを解きながら学習し、キャンパスを廻る野外活動で近隣地域の住民にも開放する。キャンパスの豊かな自然の中で自然に親しみ、植物をとおして生命の尊さとそれを育む環境保全の大切さを体感させる。
その他	□星空を観察するという身近な方法で大気の汚れを実感し、大気汚染問題に対して関心をもって頂くことを目的とした「星空の観察会」の実施 □幼稚園の遠足の場所提供する。

■ 喫煙対策

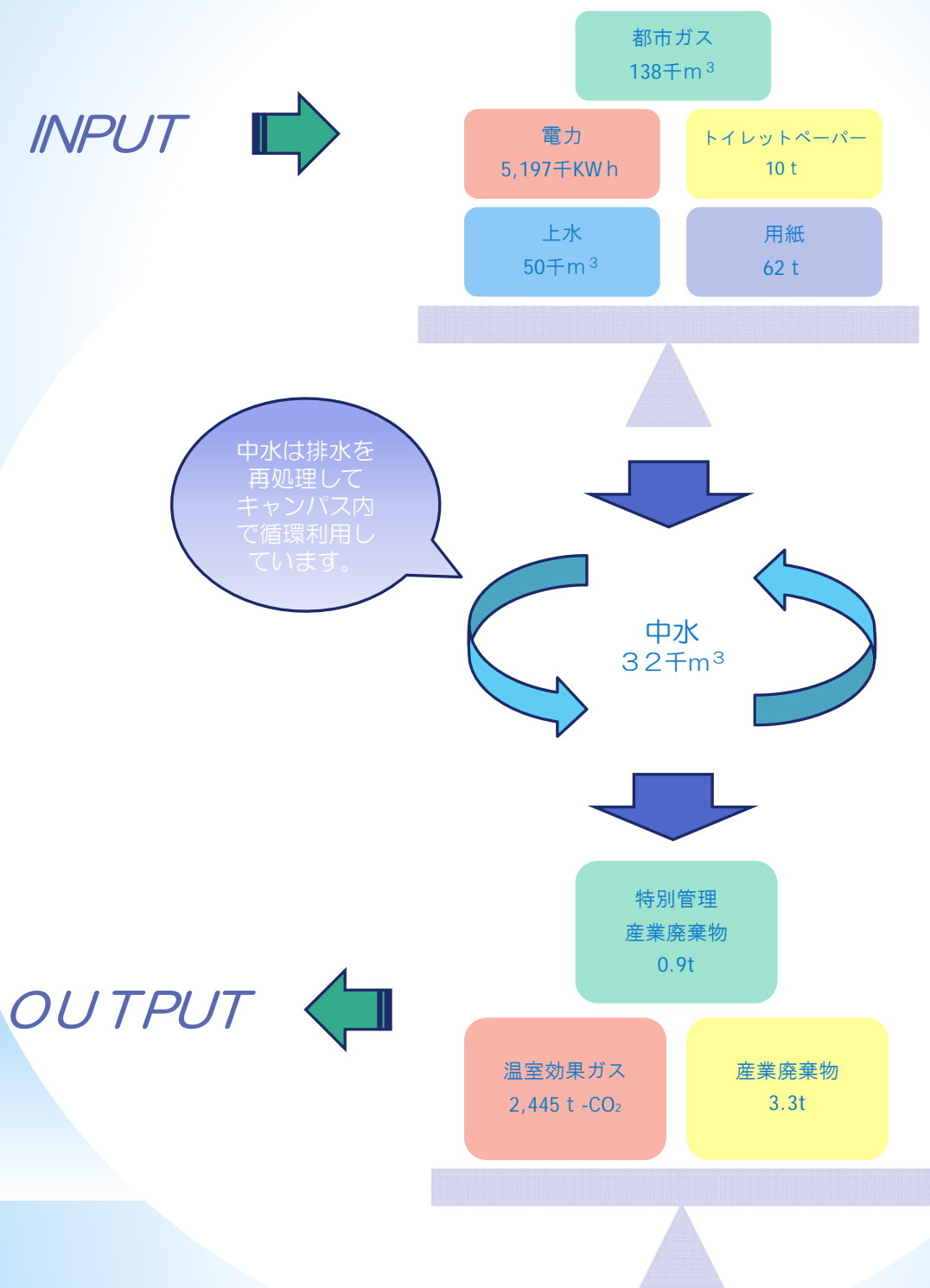
項 目	実 施 計 画
喫煙・分煙区域の指定	□分煙対策として、引き続き禁煙区域の明示と喫煙場所の整理を行い、受動喫煙の弊害を抑制する。
啓発活動	□喫煙者に対する健康意識の高揚や喫煙マナー向上に向けたPR活動を推進する。

■ 学内美化

項 目	実 施 計 画
雑草の刈り取りとゴミの一斉収集	□キャンパスクリーン週間を年間2回設け、教職員と学生による一斉雑草刈りとゴミの収集を行い、環境美化を図る。また、この週間中以外でも道具を貸し出し、有志で環境美化が実施できる対応とする。
花壇の整備	□計画的に整備する。
植栽の剪定	□期日を決め定期的に剪定や草刈の実施をする。

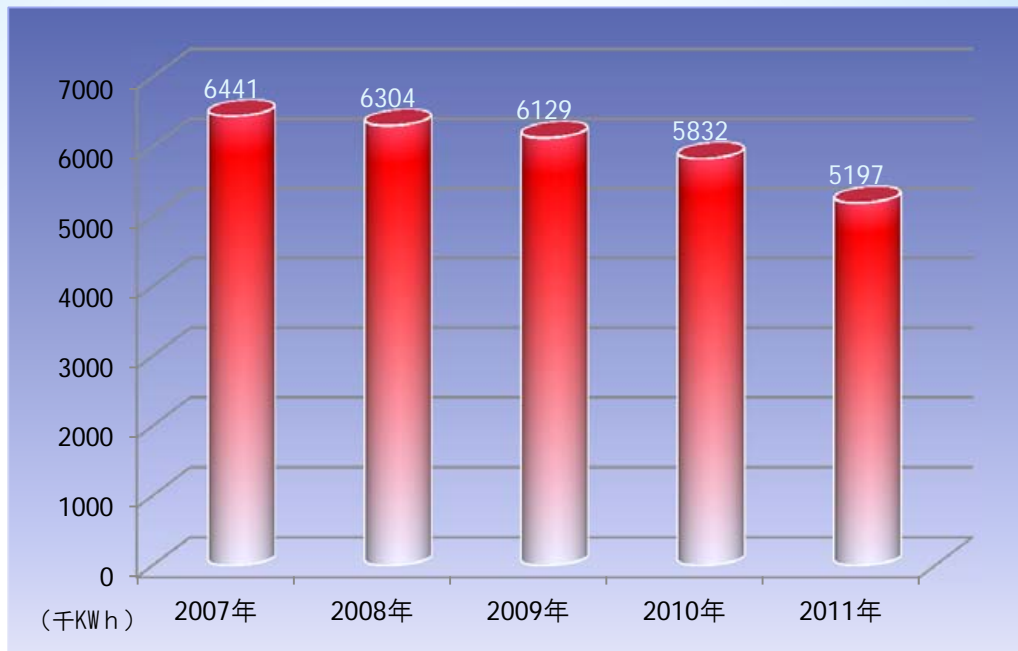
マテリアルバランス

マテリアルバランスとは、大学の活動に伴う環境負荷の全体像で、大学の活動のために投入する資源等をINPUT、大学の活動結果排出する環境負荷をOUTPUTとして表したもので、平成23年度の大阪教育大学柏原キャンパスのマテリアルバランスは下記の通りです。



環境負荷データ

電力

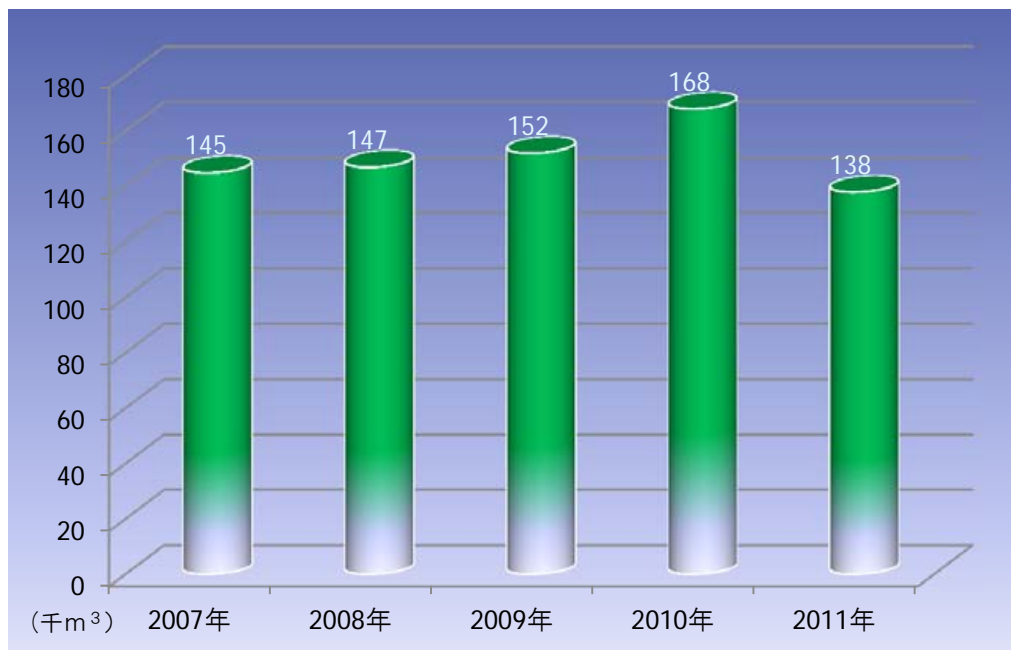


●電力使用量削減のため全学的な省エネ活動を推進しています●

2011年度の電力使用量については、照明設備の高効率化の実施を行うと共に夏季及び冬季の省エネキャンペーン活動として、節電を実施したことにより、2010年度と比べ約11%の電力使用量削減となりました。

※電力のCO₂排出係数は「地球温暖化対策の推進に関する法律施行令」第3条1項口で定める数値を採用しました。

都市ガス

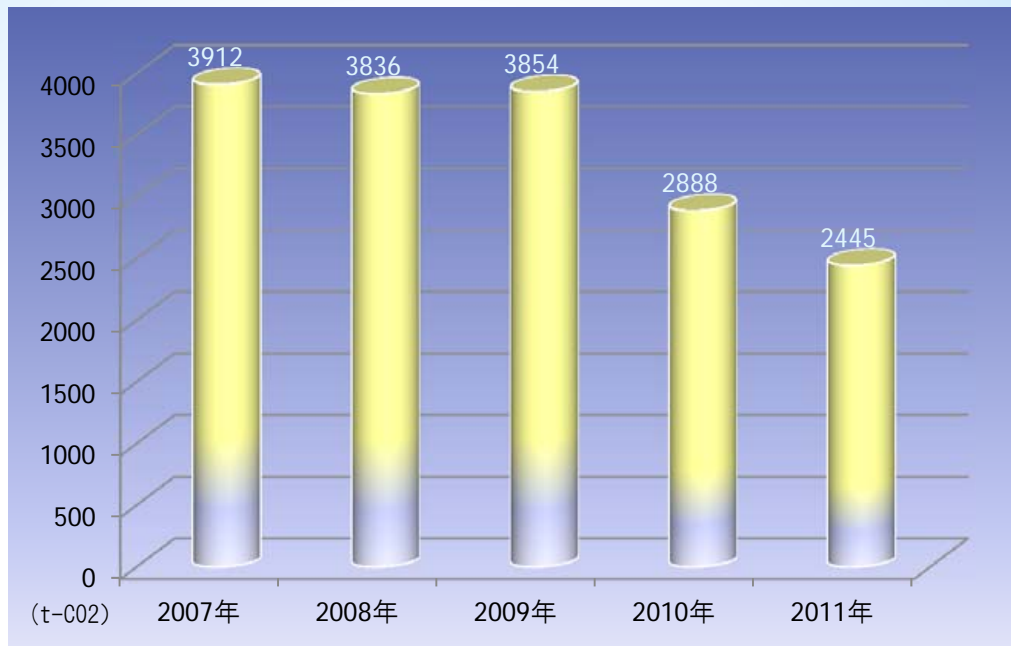


●ガス使用量削減についても全学的な省エネ活動を推進しています●

ガスヒートポンプ式空調機の設定温度の抑制と2011年度は夏季及び冬季の省エネキャンペーン活動を実施したことにより、2010年度と比べ約18%のガス使用量削減となりました。

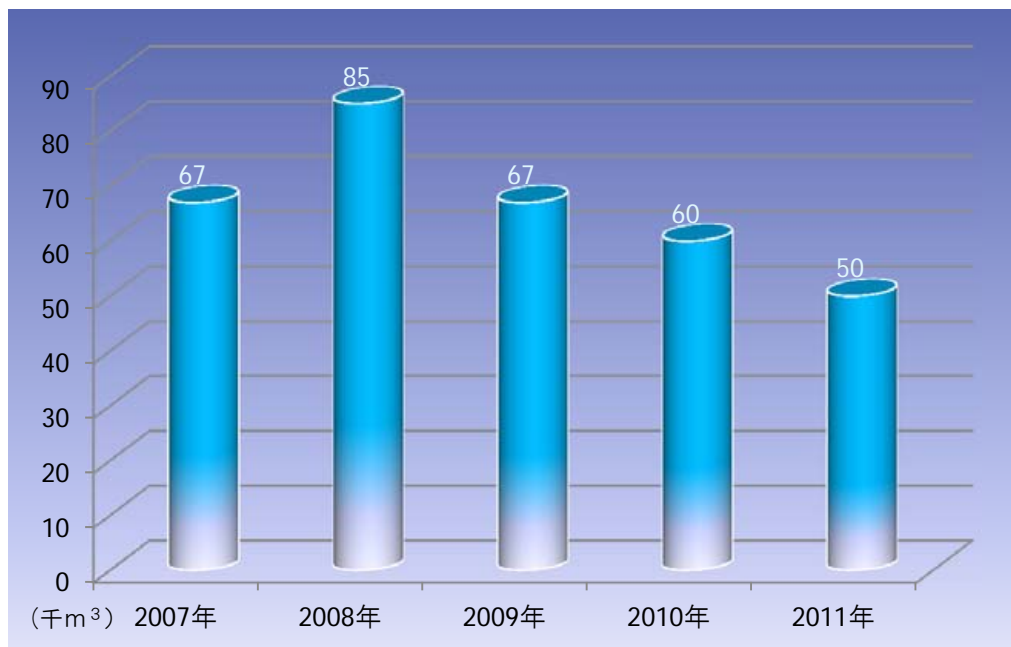
環境負荷データ

温室効果ガス



●温室効果ガス排出量削減に努めています●
2011年度の夏季及び冬季の省エネキャンペーン活動等の取組みによりエネルギーの消費が削減されたことに伴って、2010年度と比べ約15%の温室効果ガスの排出量が削減となりました。

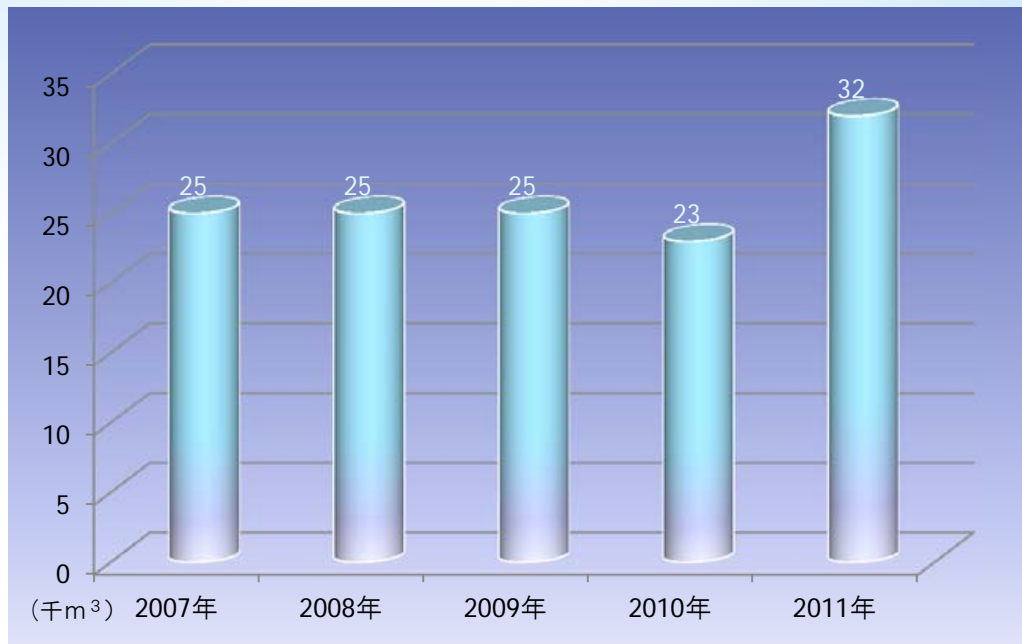
上水



●節水対策により水の使用量削減に努めています●
自動水洗の導入やトイレの擬音装置の導入により2011年度は夏季及び冬季の省エネキャンペーン活動として、節電を実施したことにより、2010年度と比べ約17%の使用量削減となりました。

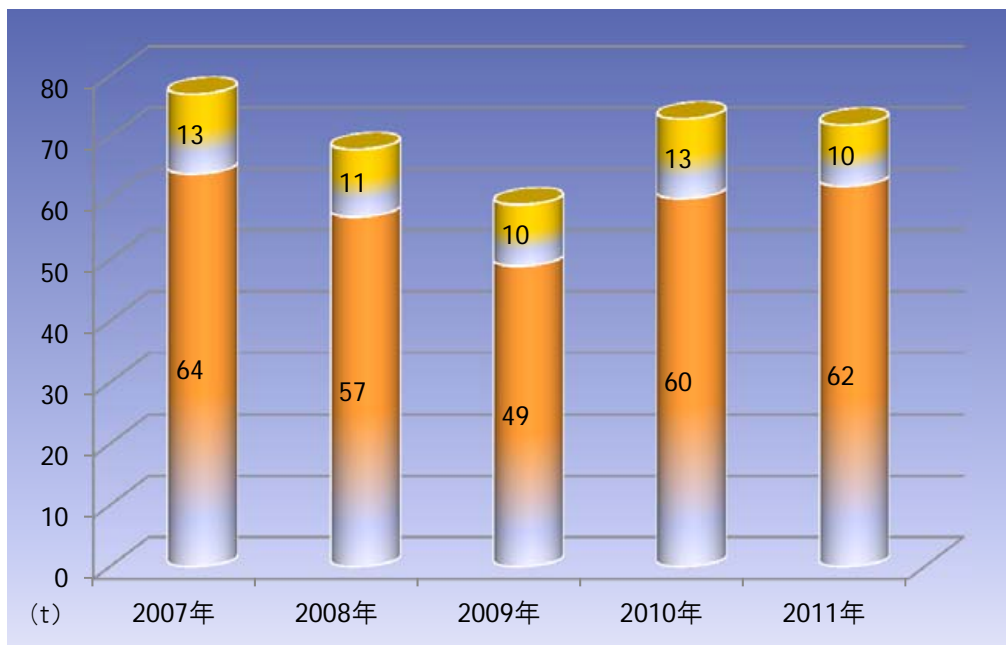
環境負荷データ

中水



●中水は排水を再生処理してキャンパス内で再循環利用しています●
生活系で使用した排水は生活排水処理施設で処理を行い、中水として柏原キャンパス内のトイレの洗浄水や樹木などの散水として循環利用を図っています。また余剰の処理水は環境汚染のない基準以下に処理され、河川に放流を行っています。

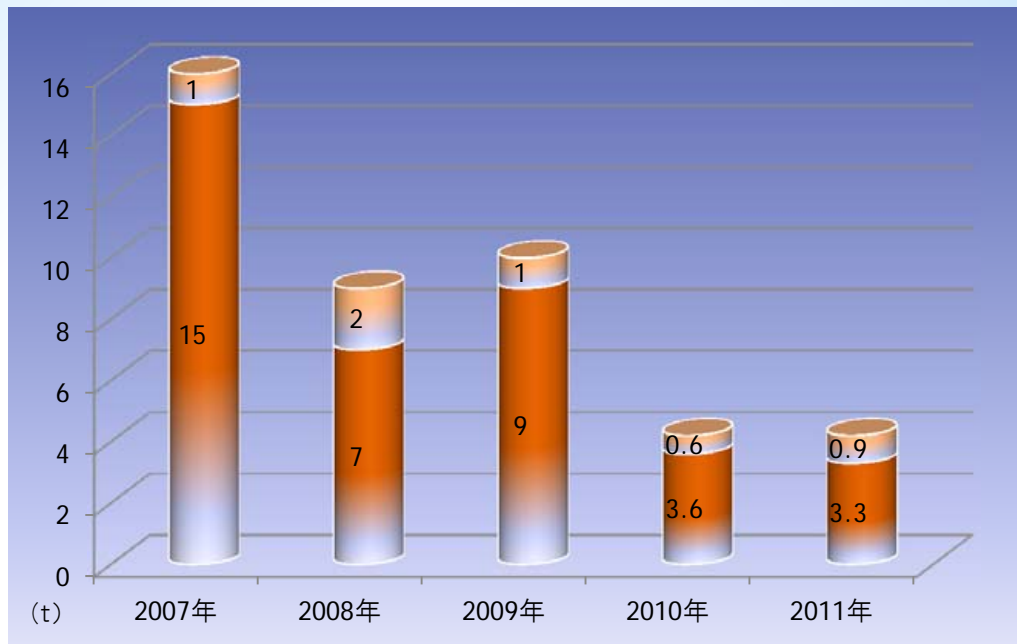
■ トイレトペーパー
■ コピー用紙



●コピー用紙及びトイレトペーパーの節減に努めています●
トイレトペーパーについては、2010年度に比べ3 t 減少した。また、コピー用紙については2010年度に比べ2 t 増加しました、大阪教育大学学内グループウェアにより配布文書の電子化を行いペーパーレス化を図っています。また、両面コピーやコピー用紙の裏面利用など促進を進め、紙使用の節減に努めています。

環境負荷データ

特別管理産業廃棄物
産業廃棄物



●特別管理産業廃棄物及び産業廃棄物の削減に努め適切な処理を行っています●
特別管理産業廃棄物については2010年度に比べて0.3t増加しました、また、産業廃棄物については、2010年度に比べ0.3t減少しました。特別管理産業廃棄物及び産業廃棄物は「廃棄物処理法」に基づき適正な処理を行っています。

■廃棄物の分別徹底とリサイクル

1. 一般廃棄物の分別収集

要所に分別ゴミ収集ボックスを配備して、分別収集を徹底し、委託清掃業者による毎日の清掃時に委託清掃業者が取りまとめて集積場に廃棄しています。

2. 特別管理産業廃棄物

特別管理産業廃棄物に該当する廃油、廃酸、廃アルカリ等については、随時産業廃棄物管理票（マニフェスト）により処理を業者委託しています。

また、ポリ塩化ビフェニル廃棄物（PCB廃棄物）は、PCB保管庫に保管しており、環境省「ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理基本計画」に基づき委託処理する予定です。

3. 産業廃棄物

酸・アルカリ等の実験廃液やそれによる汚泥、廃油、また、廃プラスチック・金属類等の産業廃棄物は鍵付きの厳重管理格納庫を設置し、集積状況を見て随時、産業廃棄物管理票（マニフェスト）により処理を業者委託しています。

4. その他のゴミの収集

冊子や紙類等は全構成員に回収日と収集場所を周知徹底し、リサイクル業者に回収処理を委託しています。粗大ゴミは鍵付き格納庫にコーナーを設け、リサイクル可能な物と不可能な物に分別し、学内再利用する物は学内ネットで広報し、必要者の再利用に供しています。

また、不可能な物については産業廃棄物管理票（マニフェスト）により処理を業者委託しています。

環境マネジメント活動の推進

環境保全活動の状況

キャンパスクリーンデー

毎年7月と10月に「キャンパスクリーン週間」を企画し、教職員並びに学生の参加を得て、草刈りと構内清掃を実施し、構内の環境保全に努めています。参加人数も年々増加し300人を数えることになりました。



華(花)のあるキャンパス造り



スイセン (春)



コスモス (秋)

柏原キャンパスではエスカレータ付近に華(花)のあるキャンパス造りとして、春にはスイセン、秋にはコスモスを植えています。現在コスモスは芽が出てきたところで、秋には可憐な花が咲きみだれることを楽しみにしてください。

可愛い風船のトンネルです！

風船かずらのトンネルを作りました。理科の授業受講者の学生さんたちに種を植えてもらったのが6月5日、8月20日を過ぎ2m50cmまでつるが伸びて可愛い風船があちこちに～。茶色く色づいた“ハートシーズ”の収穫まであと1ヶ月、グリーンカーテンとしても楽しんでください。設置場所は学生会館3Fテラス(屋上プラザ)への通路にあり、長さは14mです。収穫した種で「苦難去る」の人形が造れます。



「苦難去る(猿)人形」

「文責および人形の作製は入試課入試アドバイザー 岸本 章嗣 氏による」



風船かずらのトンネル



風船かずら
(秋にはハートシーズに♡)

環境マネジメント活動の推進

省エネルギー活動



グリーンカーテン始めました



グリーンカーテンの設置場所：工房棟南

このたび、柏原キャンパスの工房棟南面にグリーンカーテンを設置しました。グリーンによるカーテンは窓からの日射を遮り、室内の温度上昇を抑えることにより、冷房の空調負荷削減にも貢献します。また、温室効果ガスの排出を抑える役目があります。

- 日射を遮り空調負荷の削減効果がある！
(温度差：平均2℃から3℃の温度差)
- CO₂排出を抑え地球環境に優しい！

環境マネジメント活動の推進

省エネルギー活動

省エネルギーの夏季アクションプランがスタート



長尾学長と省エネ委員による省エネパトロールの実施

夏の省エネキャンペーンとして、校内放送で“クーラーよりもクールビズ”のキャッチフレーズを紹介するとともに、省エネ強化を呼びかけました。午後には長尾彰夫学長を先頭に第1回の省エネパトロールを実施しました。事務局棟の各課を皮切りに附属図書館、大学生協、食堂、A棟、B棟、C棟を巡回し、照明やエアコンを中心に点検、省エネの呼びかけを行いました。



柏原キャンパスの大学入口にあるエスカレーター前に**ミスト**（微細な霧の噴射装置）を設置いたしました。



環境マネジメント活動の推進

省エネルギー活動

平成24年度夏季省エネについて

概要

この夏における関西電力管内の電力需給は、全11基の原子力発電所の再稼働ができない場合、様々な対策を講じても電力需要に対して不足することから、関西電力管内では15%以上の節電要請が政府から発表されました。

このことから、この夏の電力需給が昨年以上に、大変厳しくなると見込まれるため、本学では夏季省エネ計画を策定し、附属学校園も含め取り組むこととし、教職員のみならず、学生等に対しても教育の一環として、日常生活、教育研究を通じて節電・省エネ活動を実施しています。

夏季省エネの具体的な節電・省エネ実施項目

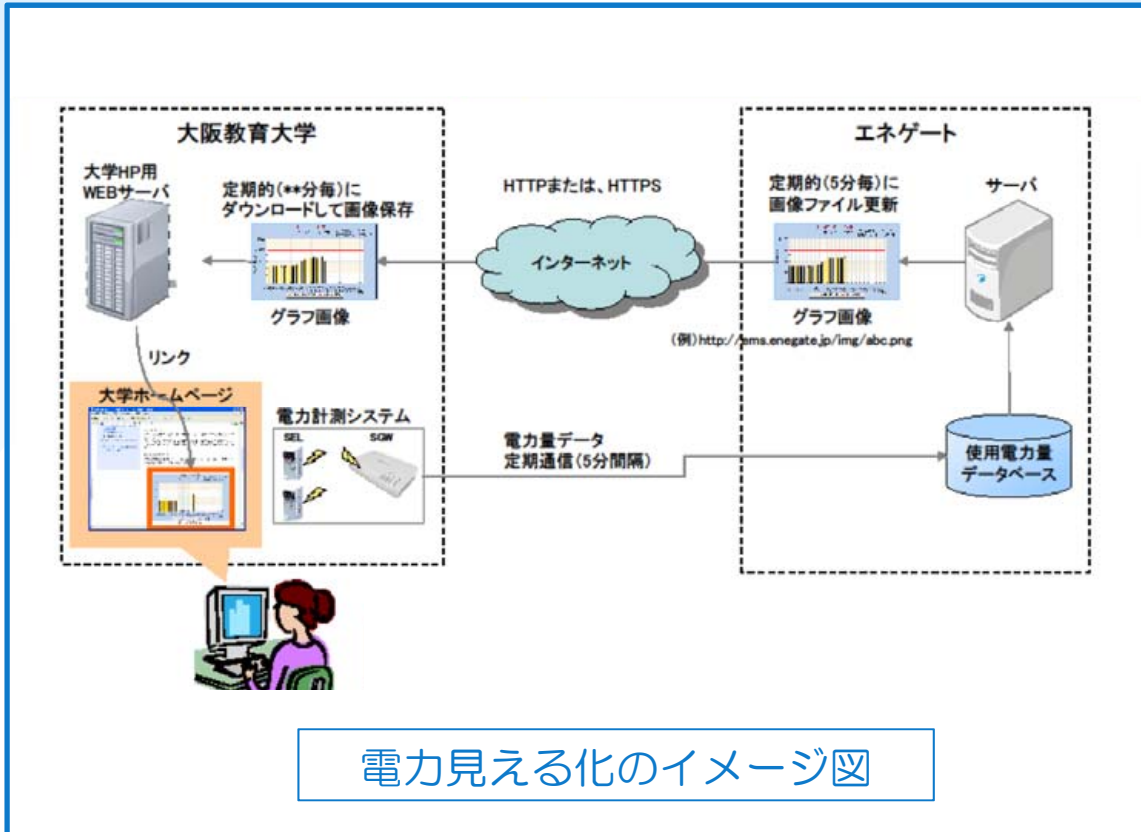
- 電気予報の実施
 - 省エネポスターの掲示
 - 省エネステッカーの貼り付け
 - 省エネパトロールの実施
 - クールビズの励行
 - 未使用部屋の消灯 → 5%削減
 - 昼休み等休憩時間の消灯 → 5%削減
 - 自然光の活用（日中は窓側消灯） → 5%削減
 - 未使用部屋の空調機運転停止 → 10%削減
 - 温度管理の徹底（冷房28℃） → 1℃調整で10%削減
 - 冷房期間中、ドア・窓の開け放し防止 → 10%削減
 - ブラインドの有効活用 → 10%削減
 - 空調機フィルターの定期清掃 → 5%削減
 - 外気冷房（夏季の早朝、夜間および中間期）※網戸の活用
 - PC等省電力設定 → 70%~90%削減
 - 不要な周辺機器をパソコンから取り外す
 - PC等の長時間（約1時間30分以上）使用しない場合OFF
 - 冷蔵庫の設定を「弱」モード → 「強」から「中」で11%削減
 - テレビ等のリモコン電源ではなく、本体の電源を切る → 2%削減
 - 日中で明るい場所は照明を消す → 5%削減
 - 長時間使用しない機器はコンセントからプラグを抜く → 2%削減
 - 長時間（2時間以上）使用しない電気ポットは、プラグを抜く → 25%削減
 - 節水に努める
- （上記削減数値は、主に経済産業省資料より出典）



環境マネジメント活動の推進

省エネルギー活動

電力の見える化



概要

電力の見える化として、電力の検針単位毎に使用量を計測しその計測データを通信回線（携帯電話バケット通信網）等で、学外データセンターのデータベースサーバーへ蓄積し、同じく併設のWebサーバー経由でインターネットに接続したパソコン等からID・パスワードで電力の使用状況を見ることが出来ます。

検針単位

- ・ 柏原キャンパス
- ・ 天王寺キャンパス
- ・ 池田、天王寺、平野地区は概ね学校単位
(但し、宿舎及び山の家は対象外としている)

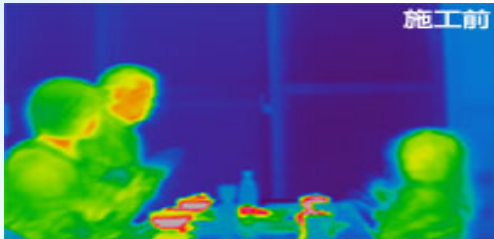
今後は蓄積された電力の使用状況のデータ分析を行い、節電への取組への意識向上を図ると共に、電力使用の効率化合理化に役立つツールとしています。

環境マネジメント活動の推進 エネルギー削減の取り組み状況

省エネルギーおよび環境負荷軽減

○窓断熱対策（二重サッシ化）

- ・ 部屋の遮熱・断熱効果を高め、空調負荷の軽減によるエネルギーの削減を図る。
- ・ 整備実施状況 : 事務局棟4階の26箇所（大会議室・小会議室）



外窓：アルミサッシ+単板ガラスのみ
室内温度：20.5℃ 室内湿度：49.4%
室外温度：13.1℃ 室外湿度：21.1%



外窓：アルミサッシ+単板ガラス+
内窓：断熱サッシ+Low-E複層ガラス(断熱タイプ)
室内温度：22.8℃ 室内湿度：58.1%
室外温度：14.3℃ 室外湿度：37.7%
※ブルーが濃いほど冷たい状態です。

○網戸の設置

- ・ 外気冷房として夏場の早朝や夜間および中間期に網戸を活用し、冷房エネルギーの削減を図る。
- ・ 整備実施状況 : A棟・B棟・C棟・F棟・G棟・K棟・H棟の約260箇所設置

○講義室等の照明改修

- ・ 講義室等の既設照明器具を高効率型に取替を行い、エネルギーの削減を図る。
- ・ 整備実施状況 : B棟・C棟・F棟・H棟の660台取替
- ・ 年間削減電力量 : 約16,000kwh
- ・ 年間削減CO₂量 : 約7t
- ・ 年間電気料金削減額 : 約25万円



改修後の状況

○外灯設備のLED改修

- ・ 既設外灯の器具をLED型器具に取替を行い、エネルギーの削減を図る。
- ・ 整備実施状況 : 道路灯50台取替
- ・ 年間削減電力量 : 約36,000kwh
- ・ 年間削減CO₂量 : 約16t
- ・ 年間電気料金削減額 : 約56万円



改修後の状況

環境マネジメント活動の推進 安全・安心への取り組み

救命救急講習会



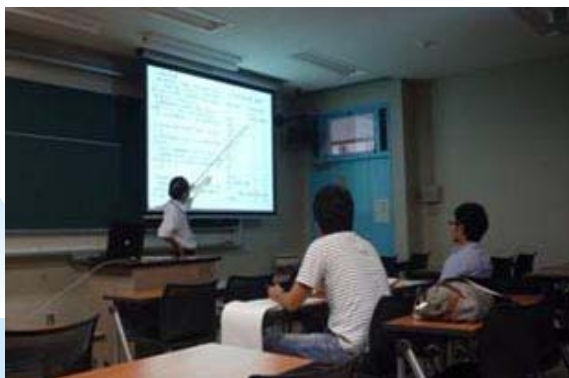
柏原キャンパスでは本学教職員による救命救急講習会を実施いたしました。当日は養護教育講座の大道准教授が講師となり人工呼吸やAEDの使い方について実演を行いました。あらためて、救命救急の大切さと早期対応の必要性について学んだ一日でした。

防災訓練

柏原キャンパスでは防災訓練を2月20日柏原羽曳野藤井寺消防組合署の協力をいただき教職員及び学生を含め約100名以上が参加して実施しました。訓練は地震により火災が発生したことを想定し、「通報・誘導・避難・消火」訓練を行いました。また、教員養成課程棟前庭で、消火器による消火訓練を行いました。



放射線業務従事者に対する 安全教育訓練を開催



放射線取扱業務に従事する学生・教員を対象にした安全教育訓練が、8月31日(水)に実施されました。この教育訓練は、放射線障害の防止を目的として、法律の定めにより毎年行われているものです。

本学の放射線取扱主任者の鵜澤武俊准教授(自然研究講座)により、放射線が人体に与える影響、放射性同位元素等、また、放射線発生装置の安全取扱い、及び放射線障害の防止に関する法令、放射線障害予防規定などについて、講義やビデオの上映が行われました。参加した学生・教員は、教育訓練に真摯に取り組んでいました。

環境マネジメント活動の推進 地域社会への取り組み

スポーツ交流会



いろいろなスポーツの体験を通して本学体育会学生と地域との交流を図り、子どもたちのスポーツ参加へのきっかけを与え、児童・生徒の体力向上や市民の生涯体育にも役立ててもらおうと、「スポーツ交流会」を2月11日（土）と12日（日）、柏原キャンパスで開催しました。

本学学生と保育園児がイモ掘り



本学柏原キャンパスの教材園で、11月18日（金）、旭丘まぶね保育園（柏原市旭ヶ丘）の子ども46人と本学「食農教育の実践」受講生、小学校教員養成課程総合認識系の学生、幼稚園教員養成課程の学生と一緒にイモ掘りをしました。シャベルで土を掘り起こすと、中から大小様々な形のサツマイモが次々と姿を現し、子どもたちの歓声があがりました。この日は54本の苗から約300個のサツマイモを収穫しました。

環境マネジメント活動の推進 地域社会への取り組み

「中学生のための一日体験入学」並びに 「子と親の楽しいかがく教室」を開催



「第17回 かがくを楽しもうー中学生のための一日体験入学」が大阪教育大学わくわくかがくグループの主催で8月18日(木)に開催されました。(後援：科学教育センター)。

本企画事業は、実験を通じて主に大学近隣の中学生にかがくの楽しさを知ってもらうことを目的とし、地域貢献の一環として毎年夏に行なっています。

今年は、かがくに興味のある中学生28名が参加し、19の実験テーマのうち、午前と午後に1つずつ希望した実験を楽しみました。実験終了後には、それぞれの参加者に「終了証」が授与され、実験成果・記念品とともに家路につきました。

「第6回かしわら国際交流フェスティバル」 を柏原キャンパスで開催

大阪教育大学と柏原市との共催による「第6回かしわら国際交流フェスティバルーつながろう、柏原から世界へ！」を11月3日(木・祝)に柏原キャンパスで開催しました。前回に引き続き神霜祭と同時開催となり、本学留学生、学生、一般市民を合わせ650人が参加し、大勢の人で盛り上がりました。

今年度は、歌・踊りを披露するステージ、各国料理の提供、各国の文化紹介をするふれあいテーブルと3つのイベントを同時進行で実施しました。



柏原市立国分小児童と本学学生がキッズ・ベンチャーを実施



現代GP2006年度文部科学省採択の「地域連携学校教育のできる教員養成プログラム」での実施を含め、柏原市で10年目の取り組みとなります。総合的な学習の時間を充て、モノづくりから販売までを子どもたち自身が企画・実践する早期起業家教育を通し、経済産業活動の基本的理解とチャレンジ精神、課題達成能力などを育むことをめざしており、併せてキャリア教育教材の開発と地域活性化への貢献を目的としています。

環境マネジメント活動の推進

学内での取り組み

大阪教育大生協の環境保護に関わる取り組み



24年5月の生協総代会にて決定した中期計画「大阪教育大生協のビジョンとアクションプラン」の中で、持続可能な社会をつくるための生協の目標を掲げました。

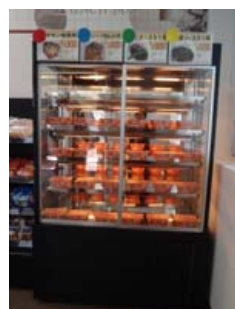
アクションプラン6：地域や社会の中での大学の在り方に根差し、大学の要望に応え続けるとともに、自らも自立した事業組織として持続可能な社会づくりに貢献します

- ① 省エネキャンパスの実現のため、大学の省エネルギーのとりくみに協力するとともに、店舗内・事務所内での省エネに年間を通じて取り組みます
- ② 国際交流フェスティバルなど「地域に開かれた大学づくり」のための取り組みに積極的に協力します
- ③ リサイクル可能なテイクアウト容器を使用するとともに、回収率向上（リサイクル促進）のための啓蒙活動を強化します
- ④ 大きな災害が起きた被災地への支援活動に継続的に取り組みます。また、万が一大学が被災地になった場合には、大学と連携・協力した取り組みをすすめます。

リサイクル可能なテイクアウト容器「ホッかる」の使用と、回収率アップのために、リサイクル方法や回収BOXの位置を知らせる取り組みを行いました。23年度の回収率は、年間合計でおよそ25%です。



キャンパス内の福利厚生を充実させる取り組み



昼食時の大学会館の混雑緩和と、共通講義棟付近での昼食利用の利便性を高めるため、大学・教育振興会・生協が協力して23年10月にB3棟2階にミニコンビニ「PETIT SHOP（プチ・ショップ）」をオープンさせました。環境に配慮した「ホッかる容器」のお弁当を中心に販売する店舗となっています。

環境マネジメント活動の推進

学内での取り組み

大阪教育大生協の省エネルギーに関わる取り組み



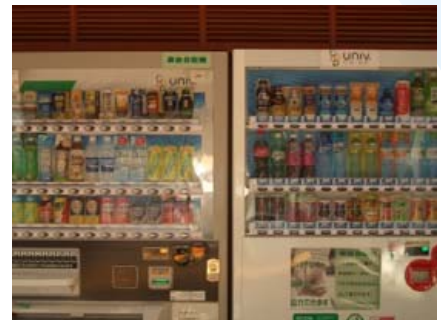
生協の店舗や食堂でも、大学の目標に合わせて省エネのためのチェックリストを作成し、下記のような取り組みを実施しました。

23年7月～9月の3カ月間で、生協使用分のみで前年比約20%の電気使用量削減ができました。

←店舗内の蛍光灯間引き、食堂ホール照明の昼間時一部消灯



店舗内の冷蔵ショーケース照明、自動販売機照明の24時間消灯→



生協の省エネキャンペーン

<2012年7月～9月実施中！>

全学をあげての省エネ推進、電力量15%削減の目標達成のため、生協も様々な節電に取り組んでいます。
組合員の皆さんも食堂や購買のドアを閉める等、ご協力をお願いいたします。

【主な節電実施項目】

- TERRA・第2食堂・カフェ・レストランホール
- 照明の開店前消灯、昼間一部消灯
- 購買のスポットライト、TERRAの間接照明の終日消灯
- 購買・ホッかるショップの冷蔵ショーケース照明の終日消灯
- 自動販売機の照明の終日消灯
- 自動販売機コンプレッサーの部分停止
- 大学会館廊下照明の一部消灯
- エアコンの設定温度・風速管理
- 出入口の開放厳禁（混雑時以外）

UNIV COOP 大阪教育大学生協同組合



←ポスターを使った組合員への省エネ協力にむけた呼びかけ

事務所内での、機器類の電源OFF確認カード↓



環境マネジメント活動の推進

学内での取り組み

H24年度 ハチホイホイ設置について

昨年度は1ヶ月に2～3回、「蜂の巣がある」「蜂が飛んでいる」などSOSの連絡があり、危険を回避する緊急除去作業を実施しましたが、今年も駆除依頼の連絡が沢山あると予想されますので、今年度は蜂の絶対数を減らしたらいいのでは、という提案がありました。そこで、ハチホイホイ大作戦「ハチホイホイ」を作ってはとの声があり、廃材のペットボトルに飲み残しの果実酒や酢を入れたものを枝にぶら下げ、蜂を呼び寄せる試みを実施しました。

材料：2リットル
ペットボトル+果
実酒残り物・酢等



1号設置場所：来客用駐車場北
西側植栽のサトザクラ

2号設置場所：大学会館と
バス停間のサクラ



4号設置場所：テニスコート
北西側のクスノキ



3号設置場所：体育棟・工房棟
南東のクヌギ

女王バチを捕まえることにより6月～10月
末までの働きバチの絶対数を減らすことを目
的とします。

ペットボトル・飲み残しの果実酒など、家庭
にある材料で、経費をかけずに作成したもので、
これで駆除ができれば、毎年気軽に設置
することができます。

前年に蜂の巣が出来た近辺で、なおかつ通
路・歩道より3メートル以上離れた場所にある
木に取り付けることとしました。



環境マネジメント活動の推進

学内での取り組み

H24年度 ハチホイホイ設置について

構内にハチホイホイを設置し、平成24年5月22日(火)午後よりハチホイホイを集めて捕獲した第1回目の結果です。ハチホイホイ1号から4号で143匹を捕獲しました。



ハチホイホイ1号の成績

オオスズメバチ : 8匹
スズメバチ類 : 21匹
アシナガバチ : 3匹
計 : 32匹



ハチホイホイ2号の成績

オオスズメバチ : 17匹
スズメバチ類 : 51匹
アシナガバチ : 1匹
計 : 69匹



ハチホイホイ3号の成績

オオスズメバチ : 5匹
スズメバチ類 : 20匹
アシナガバチ : 2匹
計 : 27匹



ハチホイホイ4号の成績

オオスズメバチ : 3匹
スズメバチ類 : 11匹
アシナガバチ : 1匹
計 : 15匹

捕獲したハチの種類

捕獲したハチたちです、オオスズメバチは大きいものでは4センチ程度もあり、刺された場合は、ショックにより死に至ることもあります。



オオスズメバチ



スズメバチ



アシナガバチ

柏原キャンパスマップ配置図



1
共通講義棟 H2 RC3F
7,078㎡
講義室、視聴覚教室、情報処理実習室、LL教室などがあります。



2
教養学科棟 H3 RC4F
12,894㎡
講義室、実習室、研究室などがあり、教養学科の講義、研究が行われています。



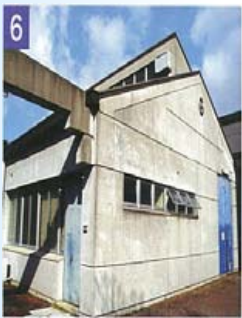
3
教員養成課程棟 H3 RC4F
19,010㎡
講義室、実習室、研究室などがあり、教員養成課程の講義、研究が行われています。入試課はC1棟1階にあります。



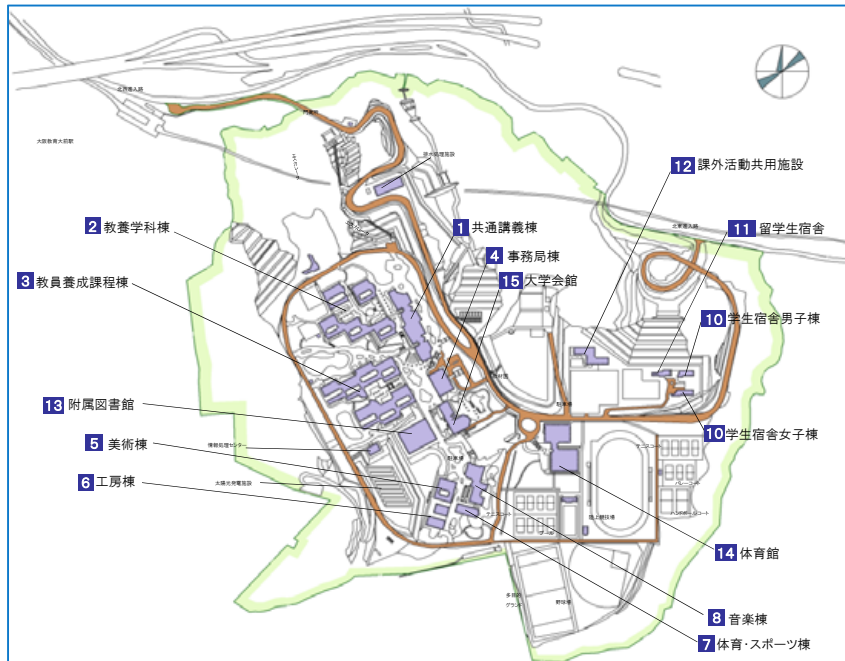
4
事務局棟 H6 RC4F
4,369㎡
学務部のほか、管理部、学術部などがあります。



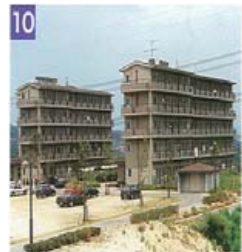
5
美術棟 H3 RC3F
2,659㎡
絵画室、デザイン室、書道室、講義室、研究室などがあります。



6
工房棟 H3 RC1F 797㎡
彫刻室、金工室、立体室、木工室、窯工室、研究室などがあります。



7
体育・スポーツ棟 H3 RC4F
1,745㎡
実験実習室、講義室、セミナー室、研究室などがあります。



10
学生宿舎 H5 RC5F 2,560㎡
男子学生宿舎(収容定員60名)が1棟、女子学生宿舎(収容定員80名)が1棟あります。



11
留学生宿舎 H6 RC4F 1,004㎡
40室(収容定員男性18人、女性22人)あり、留学生に居住の場を提供しています。



12
課外活動共用施設 H6 RC2F
1,989㎡
体育系共用室、文化系共用室、合宿室などあり、課外活動の拠点になっています。



8
音楽棟 H3 RC4F 4,084㎡
リハーサルホール、実習室、練習室、講義室、研究室などがあります。



13
附属図書館 H3 RC3-1F 7,224㎡



14
体育館 H4 RC1F 1,770㎡



15
大学会館 H3 RC4F 3,677㎡

団地の所在地

柏原地区

- 1** 柏原キャンパス
大阪府柏原市旭ヶ丘4-698-1

天王寺地区

- 2** 天王寺キャンパス
大阪市天王寺区南河堀町4-88
附属天王寺中学校・附属高等学校天王寺校舎
大阪市天王寺区南河堀町4-88

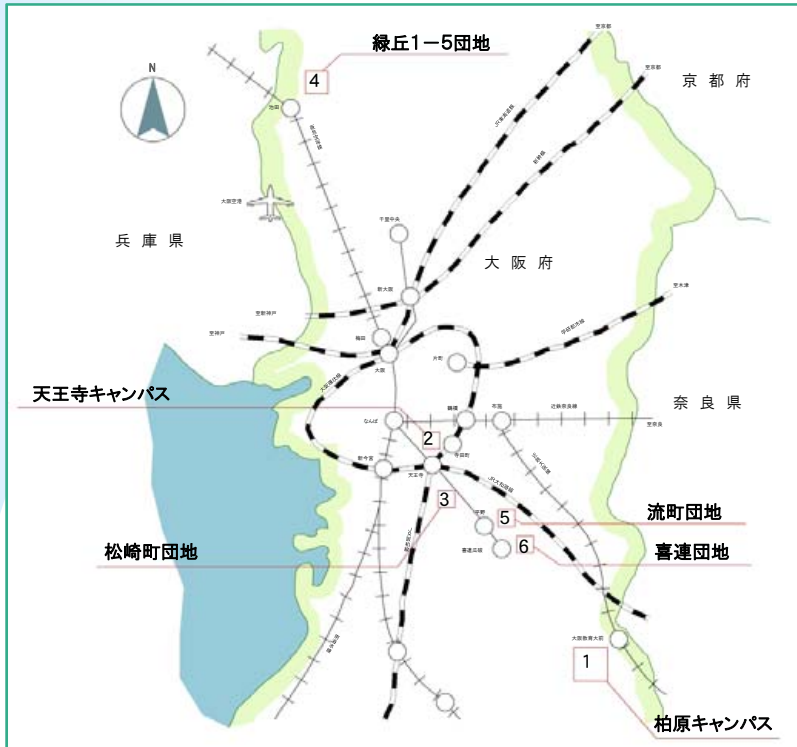
- 3** 松崎町団地
附属天王寺小学校 大阪市阿倍野区松崎町1-2-45

池田地区

- 4** 緑丘1-5団地
附属池田小学校 池田市緑丘1-5-2
附属池田中学校 池田市緑丘1-5-1
附属高等学校池田校舎 池田市緑丘1-5-1
学校危機メンタルサポートセンター

平野地区

- 5** 流町団地
附属幼稚園 大阪市平野区流町2-1-79
附属平野小学校 大阪市平野区流町1-6-41
附属平野中学校 大阪市平野区流町2-1-24
附属高等学校平野校舎
大阪市平野区流町2-1-24
- 6** 喜連団地
附属特別支援学校 大阪市平野区喜連4-8-71



キャンパスの特徴

大阪教育大学には柏原キャンパスの他、11の附属学校園が設置されている。大阪市内の天王寺地区及び平野地区、大阪府北部の池田地区に分かれて置かれ、いずれも大学との連携のもと、教育研究・教育実践・教育実習の場として重要な役割を果たすとともに、それぞれ地区ごとに連絡進学をはじめさまざまな相互連携をとり、下記のような特徴を持っている。

- 柏原キャンパス
平成元年より天王寺、平野、池田より統合移転し、大学の本部を置くキャンパスである。
- 天王寺地区
教育学部（二部）、大学院（夜間）と附属天王寺小学校、附属天王寺中学校・附属高等学校天王寺校舎を有するキャンパスで「基礎・基本の確かな育成」「中高一貫教育の長い歴史」を目標にしている。
- 池田地区
附属池田小学校、附属池田中学校・附属高等学校池田校舎を有するキャンパスで「生きる力の育成・国際教育の基盤作り」「国際教育・国際理解教育と異文化交流」を目標にしている。
- 平野地区
附属幼稚園、附属平野小学校、附属平野中学校・附属高等学校平野校舎、附属特別支援学校を有するキャンパスで「相互連携した教育・研究」「5校園構想への取組みと異校種交流学習」を目標にしている。



編集後記

本環境報告書は大阪教育大学の省エネキャンペーン「クーラーよりもクールビズ」など節電計画の積極的な活動を始め、環境配慮活動についてまとめたものです。さらなる本書の充実と本学の環境への取組についてご指導、ご支援をお願いいたします。

お問い合わせ先

国立大学法人 大阪教育大学

管理部施設課企画係

電話：072-978-3333

FAX：072-978-3345

mail：sisetuka@bur.osaka-kyoiku.ac.jp

URL：http://osaka-kyoiku.ac.jp/